



カメラニュース

現状を知ることから始めよう ～防災マップづくり～

忠海第3地区協働のまちづくりネットワークが、災害発生時に被害を最小限にとどめ、住民が安全に避難することができるよう、危険要因や災害時に役立つ情報などを地図に落とし込んだ防災マップづくりに取り組んでいます。



「大規模災害が発生したとき、行政や消防を頼ることはできない。自分たちの地域は、自分たちで守らなければ。」

忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク・防災部会では、自主防災を進める第一歩として、防災マップづくりに取り組んでいます。

「地域に備え付けの消火器が少ない、古くなっている」「道幅の狭い道路が多く避難の際に危険」など、実際にまちを歩くと新たな課題が見えてきました。

また、緊急車両が通行できない狭い道や、増水によりあふれる水路を改めて確認したことで、災害対策の必要性を強く意識することができました。

今後は、まちを歩いて得た気づきや課題を整理し、避難ルートや自主避難場所を検討していく予定です。

「今は、防災マップの試案の作成段階。今後は、防災マップをどのように活用し、住民に周知していくか、検討していきます」

と、防災部会長の野戸秀助さん。災害に強いまちを目指して、住民の新たな試みがスタートしています。



竹原の「食」をアピール！

ジャガイモ & 純米吟醸たけはら焼

12月12日、市内で竹原の「食」をPRする2つのイベントが開催されました。

吉名町では、「竹原の食を考える会」によるジャガイモ掘り体験が行われ、市内外から集まった参加者がじゃがいもの種類や特徴について学び、実際に収穫しました。

収穫の仕方を教えてくれたのは、吉名町の元矢和司さん。元矢さんの説明に、参加者も真剣に耳を傾けていました。

家族で参加した人が多く、子どもたちが楽しそうにジャガイモを掘る姿も見られました。

一方、道の駅たけはらでは、「たけはらうまいもんマップ実行委員会」による酒かすを使用したお好み焼き「純米吟醸たけはら焼」の1周年感謝祭が行われ、市内店舗によるお好み焼きの実演販売が行われました。

道の駅に立ち寄った観光客も、美味しそうな香りについて引き寄せられていました。実際に味わった人からは、「香りが良い。あっさりしているので何枚でもいける。」という嬉しい感想が聞かれました。

おめでとうございます 厚生労働大臣表彰

11月5日、中央三丁目の亀尾善熙よしきさんが、東京都内で厚生労働大臣表彰を受けられました。亀尾さんは、30年にわたり、民生委員・児童委員として職務に励み、地域福祉の向上に貢献されたことが認められました。



高規格救急自動車 市に贈呈

12月15日、全国共済農業共同組合連合会（JA共済連）から、竹原市への高規格救急自動車の贈呈式が行われました。高規格救急自動車は、救急救命士が乗務し、的確で高度な救急救命処置を行うための資器材を積載した最新鋭の救急自動車です。

寄贈された救急車は、竹原消防署忠海分署に配備され、これから、市民のみさんの安全・安心のため、活躍していきます。

学ぼう 社会にある「人権」

12月4・5日、人権センターを中心に人権フェスティバルが開催され、パネル展や作品展、講演会などが行われました。多くの来場者にとって、差別のない平和な社会について考えるきっかけになったのではないのでしょうか。



今年もライトアップ！！

12月1日～1月3日、新庄町の国道432号周辺に美しいライトアップが登場しました。ライトアップに参加する地域の人たちの手によって、恒例になってきたこの光景。今年は一段と華やかな光でみんなを楽しませてくれました。



優れた舞台芸術にふれる

12月16日、忠海東小学校で、文化庁が行う「子どものための優れた舞台芸術体験事業」として、劇団ひまわりによる児童劇公演「とんでるじいちゃん」が開催されました。

実際に児童が舞台に立ったり、観客が下敷きを使って効果音を出したりする場面もあり、児童にとっては、より身近に舞台芸術を感じる公演となりました。

ストーリーは、おじいちゃんとの不思議な体験を通して、主人公の少年が成長していく物語。ユーモアを交えた感動的なストーリーと役者のみなさんの熱演に、児童も引き込まれていました。

交通安全願い みんなでもちつき

12月12日、コーポ的場で、交通安全もちつき大会が開催され、交通安全標語の表彰式やもちつきなどが行われました。施設利用者のみなさんも参加したもちつきでは、「よいしょ」のかけ声が元気に響きわたりました。

